

## 市民会館閉館後の支援策(案)について

- ・下記のような支援策を検討中であり、今後、他市視察などを通して検討を進める。
- ・今後の検討会で、支援策毎に実施時期、実施方針など、より具体的な方向性を提示する。

No	支援策(案)	内 容	備考(方針・検討状況など)
①	代わりとなる施設の周知	「総合コミュニティセンター・キャメリアホール」など、文化活動で利用可能な施設のリストを作成し周知する。	・公立(県・市)の施設のほか、民間施設も含めて幅広く情報提供を予定。 ・現在、市内文化施設の状況などを調査、整理中。
②	使用目的による役割分担	講演会等の開催場所を舞台のあるホールから会議室に変更することで、音楽、演劇などをホールで開催しやすくする。	市の関連事業で、定期的に行っている講演会等を中心に検討。
③	市有施設の機能強化	市有施設をより文化活動に使いやすくするため、舞台設備(音響や照明設備など)を充実させる。	・3月19日、30日に文化団体の関係者と現地視察を実施。 ・要望のあった移動式音響反射板の設置など検討中。
④	アウトリーチ事業	音楽家などが、学校や福祉施設に出向き演奏会やワークショップを行う、アウトリーチ事業を実施。	・小中学生などを対象としたアウトリーチ事業の実施を検討。 ・既に事業を実施している団体との連携も検討。
⑤	まちなかパフォーマンス事業	演奏や合唱等のパフォーマンスを実施する個人や団体が活動しやすい環境を整える。	・「まちなかパフォーマンス事業」の実施回数の拡充等を検討。 ・従来実施していた大街道だけでなく、伊予鉄市駅前やJR松山駅周辺での実施も検討。
⑥	中間支援組織(アーツカウンシル)の設置	文化・芸術活動を支援・振興するため、行政と文化団体の間で、相談支援、助成、調査研究、情報発信などを行う専門機関を設置する。	組織の設置方法、機能、専門人材の確保など、検討すべき様々な論点があることから、今後、他都市の設置事例を視察し、検討を進める。
⑦	人材育成事業	将来にわたり、美術、演劇、音楽などの文化・芸術を振興するための担い手を育成する。	・アートマネジメント人材の育成などを検討。 ・既に実施している事業の拡充も検討。